

# 花たば通信



No.69

2016年12月号

発行 NPO法人 花たば  
〒657-0831 神戸市灘区水道筋6-7-14  
電話 078-801-6632 fax078-801-6780

ボランティア 元気な内は人のため いつか自分が感謝する

NPO花たば 検索

♪ 今年も楽しい〜

参加  
してね!



# 花たばクリスマス会

\*とき 12月23日(金・祝)  
午後4時~6時

\*場所 ろっこう医生協・灘組合員集会室  
(コミュニティハウス1階)

\*参加費 1,000円

\*内容 軽食と飲み物で楽しい時間  
お楽しみ福引大会  
参加者全員もれなく当たる!  
その他



お申し込みは、花たば事務所まで。TEL078-801-6632

# 研修あれこれ \* \* \*

他者から刺激を受けることで新しい発想が生まれたり、自信を持つことができるのは大事なことです。また、仕事に向き合う心構えに触れることは、慣れの中に甘えないよう自分を振り返ることができます。花たばも、今年度は理事だけでなくスタッフとして活動に参加して下さっている会員さん方にも研修の機会を心掛けてきました。同時に花たばで研修してみたいと考えられた皆さんを受け入れてきました。今回は、そんな研修あれこれをご報告します。

## 高校生です！ 県立今津高校生徒さん

10月20日、県立今津高校から4人の生徒さんたちが福祉体験の研修に来られました。「10代の人が高齢者中心の日常にやって来る！」それだけでドキドキワクワクの受け入れでしたが、花たばの紹介パワーポイントを見てもらい、屋上菜園やほっと花たばの店舗見学の後は、お茶処で実際に活動。男子生徒さんがクロワッサンサンドの具の下ごしらえを上手な包丁遣いで進めてくれると、心配顔だったスタッフも、「やるね！」 来店していた常連のお客さんと数字のマジックをするなど皆が集まるお茶処のフレッシュスタッフとして働いてくれました。



ほっと花たばの店内で、手作り品に「かわいい〜！」



なかなかの包丁遣い、やるね！



数字って、面白いだろう？  
お客さんと話が弾む

## 須見理事長が放送大学公開講座で講演



講演する須見理事長

11月13日（日）放送大学兵庫学友・同窓会主催の公開講座が開催されました。「高齢者のいきいきライフを考える」のメインテーマで2つの講演が生まれ、須見理事長は「笑顔で暮らせる住まいと街づくり」についてパワーポイントを使い、花たばの活動を紹介しました。

その後講演された兵庫学習センター客員教授の城仁士さんは「高齢者の発達を支援する環境づくり」で、北欧デンマークの福祉に流れる理論を紹介。

花たばの活動をその実践ですねと評価していただきました。会場からは質問も次々に出て、新たな人のつながりが出来たのではないかと思います。



質問も沢山飛び出し活気がある話になりました。



当日は、神大キャンパスで学園祭。

# ＊＊中・高生も受け入れました！

## トライやる・ウィークで市立広陵中学校の生徒さん

11月7日と9～11日、神戸市立広陵中学校2年生の生徒さんが「トライやる・ウィーク」体験として来られました。4日間で参加された生徒さんは15人。雰囲気慣れるまでは緊張が残っている生徒さんもまだ14歳。時間と共にやんちゃぶりも見せながら、屋上菜園の手入れのお手伝いや花たばのネットの作業のお手伝い等「働く」経験をしてもらいました。また午後の時間には入居者の方から戦争体験を聴かせてもらう一時もありました。トライやる・ウィークは、阪神淡路大震災などを機に中学生に働く体験をしてもらい生きる力を持ってほしいと1998年から続けているもの。受け入れる側も趣旨を再確認しなければと思うことでした。



孫たちだね～



左の中学生たちが、ササッと書いてくれたボード。事務所のドア横に掛かっています。



屋上菜園の植替え作業中

## デイケア南海 他 見学研修(東広島市安芸津町)



大木医師と理事長

11月17～18日、通所リハビリテーション事業所「デイケアなんかい」、ひだまりの家見学、地域活動組織「あきつほつと安心ネットワーク」との交流を中心として花たば5名、こうべ保健サービス(よつば薬局)2名が東広島市安芸津町へ見学研修の旅に出かけました。



前庭でも歩く、歩く！

デイケアなんかいは、南海診療所の大木恵先生が高齢になってもデンマークのような生き方(どこまでも自分らしく、自分の力を生かして生きる)を支えるケアを目指したもの。何度もデンマークに学び開設したデイケアなんかいは、車いすでも、手押し車でも自分の体を少しでも使えるよう、励ましを受けながら室内や前庭で、また歌いながらリハビリに励む皆さんが印象的でした。



音楽に合わせてしっかりモモを挙げ足踏み！はい、ワンツー、ワンツー♪



全員で、次はグループごとにと、飽きない工夫と励まし

# 引き続き、東日本大震災・被災地支援を！

## ■ 一口 500 円のご寄付をお願いします。 ■ ■

花たばは、2011年3月11日発生した東日本大震災の被災地支援として、岩手県大船渡市への支援を続けています。花たばらしい継続できる支援をと考え、現地の声も伺いながら、被災者支援活動に取り組む「大船渡市応急仮設住宅支援協議会（長洞仮設住宅内）」の活動をお手伝いしてきました。

それが集会室に新聞（地元紙とスポーツ紙を各1部）とコーヒー豆を贈ることで、皆さんからいただいた支援金を充当してきました。大まかな1年間の支出額の内訳は、新聞2紙1年分で77,016円、コーヒー豆が送料含め約30,000円で10万円を少し超えます。11月末現在、これまでお預かりした支援金の残高は10,330円とわずかになりました。

理事会で今後の支援を検討した結果、これまで同様の支援を続けようということになりました。間もなく大震災から6年、未だに一人一人特に高齢の一人暮らしの方にとって復興は遠いと言わざるを得ません。一方仮設住宅は少しずつ集約され始め、最終的には長洞仮設住宅1ヶ所にするという方針です。様々な場所から、また一から人間関係を作らねばならない中で、長洞に暮らす人のできる限り支えていきたいと思えます。

来年度にかけ、様々な機会を利用して会員の皆様に一口500円の支援金をお願いします。どうかご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

### お礼のお手紙(略)をご紹介します。

NPO 花たば様

いつもコーヒー豆を送っていただき有難うございます。お茶っイベントや朝のラジオ体操の後などで、住民の皆さんと美味しくいただいています。住民の方々共々、感謝申し上げます。

6月には大船渡市内の小中学校に建設していた仮設住宅5か所が撤去となりました。「早く子供たちに校庭を返したい」という思いと反面それに伴い、別の仮設にお引っ越しせざるを得ない方もおられ、複雑な思いを持つこともあります。復興が進む一つの道なのかも知れませんが、引き続き支援員として住民の皆さんのために、支援活動を続けていきます。今後ともよろしく願います。

大船渡市応急仮設住宅支援協議会事務局

## 年末年始の花たば

- 管理員事務所 12/30～1/3 休日対応（9：00～13：00 開所）
- お茶処花たば 年末 12/22（木）まで通常営業 年始 1/6（金）から通常営業
- ほっと花たば 年末 12/24（土）まで通常営業 年始 1/9（月・祝）から通常営業

**編集後記** 行事が多く気忙しく過ごした秋。暑い日が続いたこともあって季節の変化に「鈍感」になっていたのかもしれませんが、12月23日のクリスマス会にはぜひお越しください。▼今号では紙面のスペースがなかったのですが、東広島研修ではよつば薬局からお二人が参加されました。安芸津町の地域グループの活動に「地域にお薬手帳を浸透させよう」があり、南海診療所の大木先生は中心メンバー。わかっているようで何となく重要に思っていなかったお薬手帳が、緊急事態に命をつなぐ大切なアイテムだとわかれるとこれまでとは違う扱いになります。次号で詳しく報告したいと思います。▼寒くなってきました。体がキュッと固くなりますが、そんな時こそ「和はは体操」。気持ちよく深呼吸ができていますよ。1日数回背筋を伸ばしてみることも、背伸びや腕降りも立派な体操です。これからの寒さをワイワイ言いながら乗り切っていきましょう。(H.O)